

# 豊島区コミュニティソーシャルワーク事業

# コミュニティソーシャルワーク事業について

豊島区では、制度の狭間にいる人や複数の生活課題を抱える人などを支援し、地域における新たな支え合いの仕組みづくりを推進するため、豊島区民社会福祉協議会と連携してコミュニティソーシャルワーク事業を進めてきた。

コミュニティソーシャルワークとは、イギリスで生まれたコミュニティに焦点をあてた社会福祉活動・相談支援の進め方。支援を必要とする人々のニーズに応え、生活環境に目を向けて援助を行うとともに、地域による支援活動を発見して支援を必要とする人に結びつけたり、新たな資源を開発したり、公的制度との関係を調整したりすることをめざすもので、これを担う専門職をコミュニティソーシャルワーカー（CSW）という。

## 第2期地域保健福祉計画（21年度～25年度）

地域における生活課題に対応するため、区民、ボランティア、NPO、事業者、関係機関などと連携し、区民が主体的に関わり、支え合う、地域における「新たな支え合い」を構築するために、**地域包括支援センター等に社会福祉協議会等よりコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を派遣し、直接現場に出向くアウトリーチ型のソーシャルワークを展開しながら、高齢者、障害者、子どもなどすべての区民に対応するとともに、困難事例については専門機関や民生・児童委員、NPO、地域活動団体などと連携を図り、総合的かつ包括的に支援にかかる事業をモデル地区において実施する。**

# コミュニティソーシャルワーク事業について

## 第3期地域保健福祉計画（24年度～28年度）

地域生活における生活課題は多様化と複雑化の傾向にあり、公的福祉サービスのみでは限界が生じており、CSWや地域福祉コーディネーターなどが区民一人ひとりにきめ細かな福祉サービスを実現していくために、**地域における「新たな支え合い」(互助)の領域拡大に向けて、地域住民の幅広いニーズに基づく地域を基盤とした支援体制を構築**する。

平成21年度の高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)中央圏域におけるモデル事業の成果を踏まえて、**平成27年度を目途に、全ての高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)圏域にコミュニティソーシャルワーカーを配置**する。

圏域の拡大にあたっては、それぞれの地域の中で支援を必要とする区民などに対して、地域活動の拠点である圏域内の区民ひろばを情報発信の場として活用する。

## 第4期地域保健福祉計画（27年度～31年度）

CSWは、地域を基盤とした支援体制の構築において、地域人材や点在する社会資源などを有機的に活用し、**「新たな支え合い」「共助社会づくり」の強化に向けたコーディネート役として地域住民の生活課題に対応**している。各活動の実績を踏まえ、引き続き、各圏域において、町会・自治会関係者や民生委員・児童委員をはじめとした地域の関係者や関係機関、交流拠点である地域区民ひろば等との連携をさらに充実させていく。

**平成27年度 高齢者総合相談センター8圏域に各2名 計16名の配置完了**  
**(平成21年モデル事業→平成24年委託事業→平成27年度8か所で展開)**

# コミュニティソーシャルワーク事業について

## 第5期地域保健福祉計画（30年度～35年度）

豊島区版「**地域共生社会**」の実現に向けて、CSWは、地域住民や地域の人的資源と連携・協力して、支援を必要とする人への多角的な見守りやニーズの早期発見に向けて取り組むとともに、専門相談支援機関へのつなぎ役を果たす。高齢者、障害者、子どもなどの分野ごとでは対応が難しい制度の狭間の課題や複合的な課題を抱えた人々に対しては、民生委員・児童委員、青少年育成委員、保護司、高齢者総合相談センター等の関係機関と連携して支援を行う。

## 第6期地域保健福祉計画（令和6年度～令和11年度）

豊島区版「**地域共生社会**」の実現に向けて、豊島区ならではの「**重層的支援体制\***」の構築区内全域にわたって活動できるようにCSWを8か所の区民ひろばに配置し、全世代を対象に、どんな相談事でも受けとめる体制を整えていく。CSWが配置されていない区民ひろばには、巡回相談窓口を開設するなど、区民にとってより身近な地域の相談先としての機能を高める。課題を抱える個人や家族に対する包括的な相談支援などの「**個別支援**」と、**地域のネットワークづくり等の「地域づくり支援」**を一体的に行うことで、必要な社会資源の開発、さらには**孤独・孤立の状態の人等の社会参加支援**を行う。

\*重層的支援体制整備事業は、これまで構築してきた専門的な支援体制の仕組みを活かしつつ、各部署や地域が相互に連携を強めながら、地域全体の支援体制を一体的に進めることで、重層的なセーフティネットを構築することを目的とするもの。（令和5年度本格実施）

# 地域保健福祉計画とCSWとの関係性

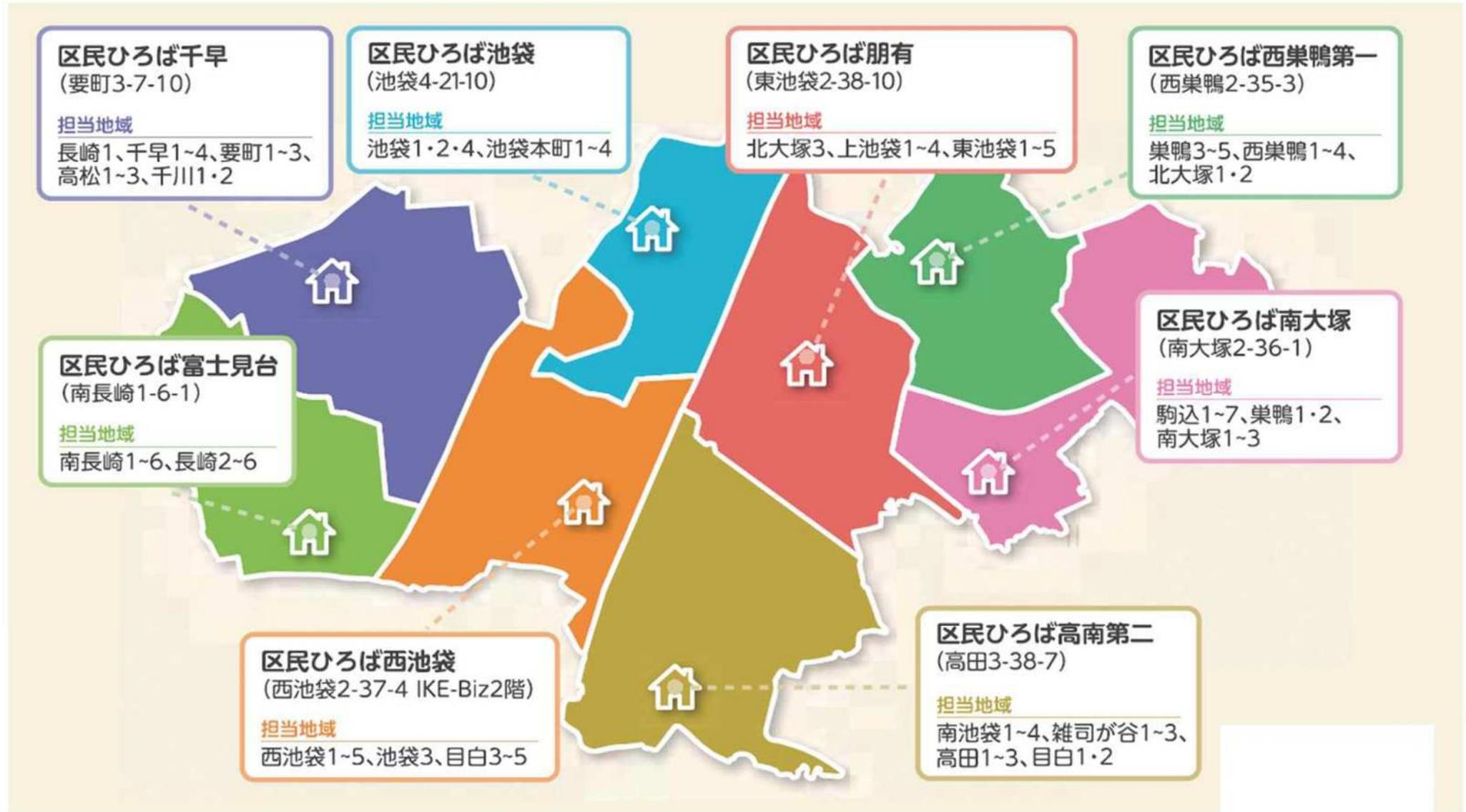
第2期計画 平成21年度～ 平成25年度	第3期計画 平成24年度～ 平成28年度	第4期計画 平成27年度～ 平成31年度	第5期計画 平成30年度～ 平成35年度	第6期計画 令和6年度～ 令和11年度
地域における新たな支え合い		新たな支え合い 共助社会づくり	地域共生社会の 実現	重層的支援体制 整備事業の構築
CSWモデル配置	高齢者総合相談 センター8圏域 に拡大	8圏域配置 各2名：計16名 (菊かおる園、東部、中央、ふくろうの杜、医師会、 いけよんの郷、アトリ工村、西部)		
モデル設置場所 社会福祉協議会	高齢者総合相談 センター8圏域 の区民ひろば	区民ひろば 計8か所 (西巣鴨第一、南大塚、高南第二、朋有、池袋、 西池袋、富士見台、千早)		

## 【今後の展望・方向性】

引き続き、区民一人ひとりの相談事を適切な専門相談支援機関へつなぐとともに、地域づくり・地域のネットワークづくりを一体的に行うことで、豊島区版重層的支援体制整備事業の中心的役割を担っていく。

# 高齢者総合相談センター圏域の区民ひろば8か所に配置

## ■ コミュニティソーシャルワーカー (CSW)\* の配置状況



# コミュニティソーシャルワークとは

支援が必要な人々の個別的ニーズの解決や生活の再建を目標に、チームアプローチでの関わりや地域ネットワークを形成し、ニーズの普遍性に着目し、必要な資源の開発を進めるなど、地域の解決基盤を高め、同じようなニーズ発生の予防・早期発見・早期対応をしやすいとともに、誰もが住みやすい地域づくりを志向した総合的な福祉援助実践である。（田中英樹；2019）



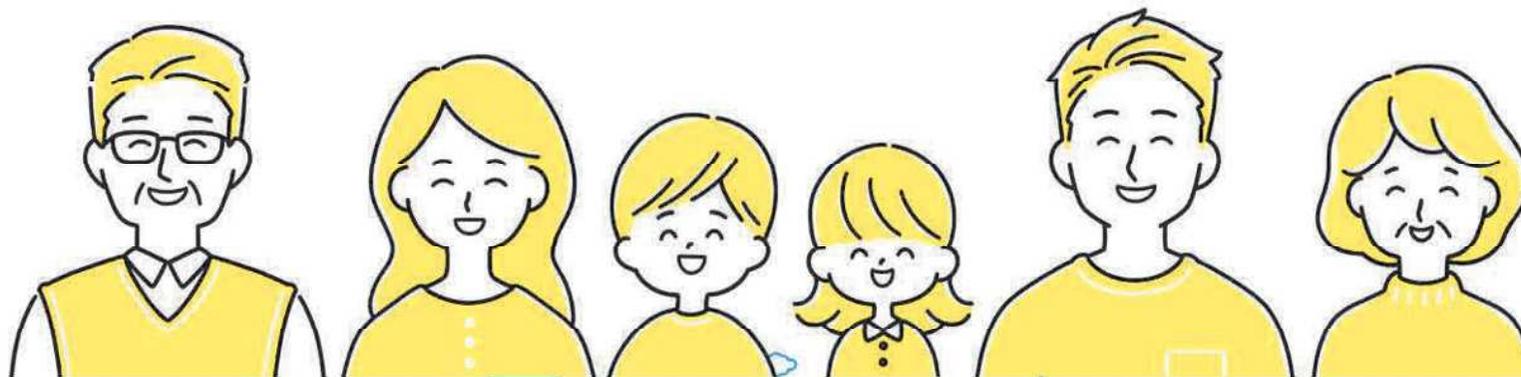
地域を基盤として個別支援と地域支援を一体的に実践することにより  
誰もが住みやすい地域づくりを推進する専門職＝  
コミュニティソーシャルワーカー（CSW）



## コミュニティソーシャルワーク事業の目指すもの

**区民ひろば**を拠点に**コミュニティソーシャルワーカー**を配置し、新たな支え合いの仕組みづくりを推進することにより、年齢や性別、国籍、障害の有無によらず、誰もが、地域コミュニティに受け入れられ、共に支え合い、居心地が良く安心して暮らせる、**“誰一人取り残さない”地域共生社会の実現**を目指す。

※委託仕様書より

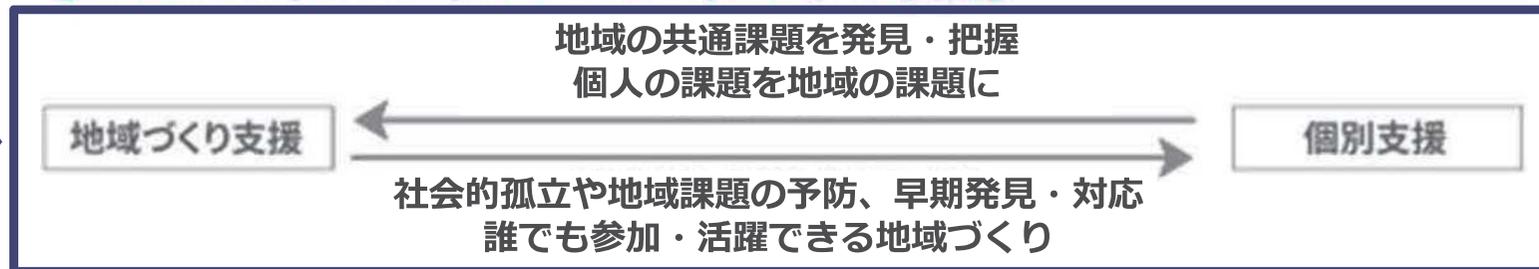


「コミュニティソーシャルワーク事業」は、豊島区から豊島区民社会福祉協議会が委託を受けて実施しています。

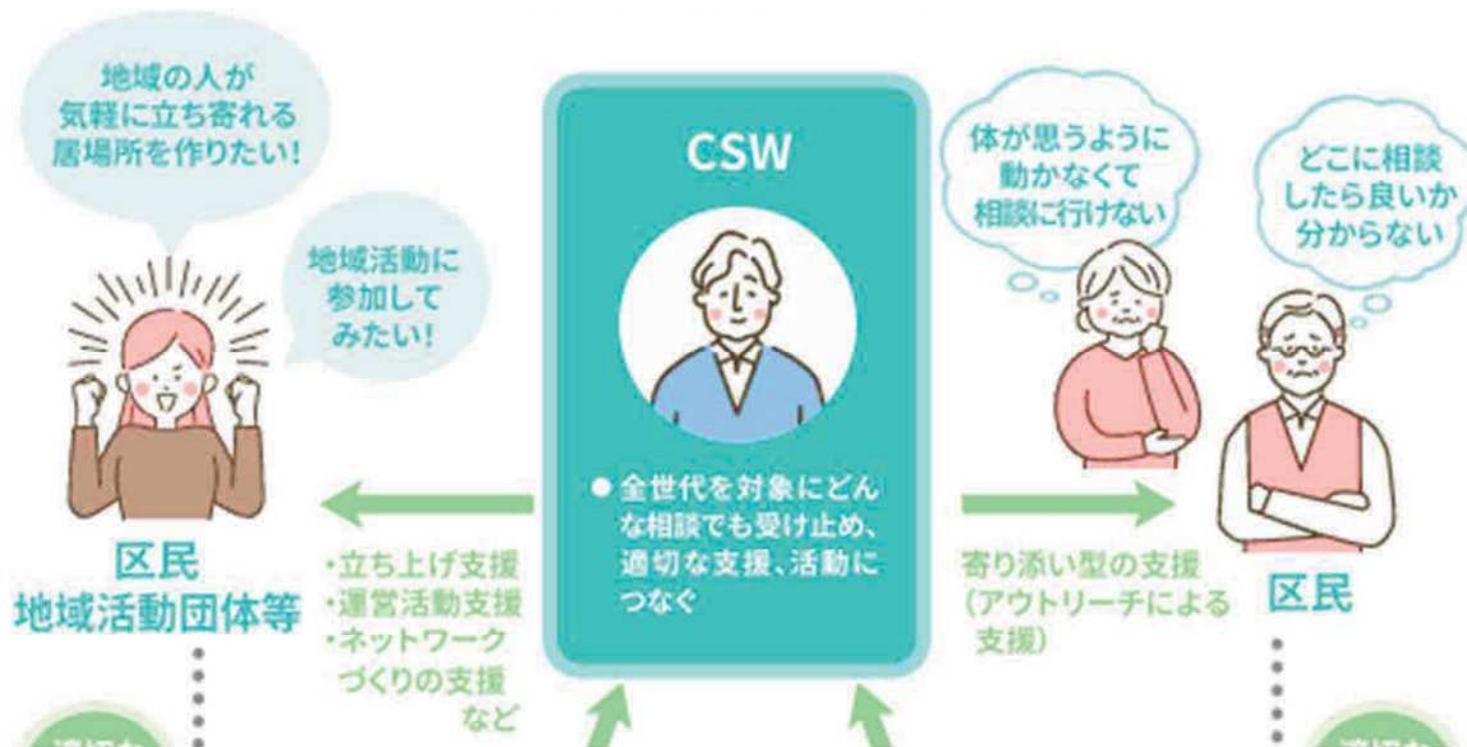


# 個別支援と地域支援の循環

## 【コミュニティソーシャルワーカー (CSW)\* の役割】



- ◆ 個別支援も地域支援もCSWが単独で取り組むわけではない。
- ◆ CSWは、当事者を含む住民や町会、民生委員、青少年育成委員、団体、法人など、多様な主体による参加や協働を促し、つなぎ合わせ、活性化する役割を担う。



# ① 個別支援 対象・属性を 問わない 包括的相談支援



ある月の報告より

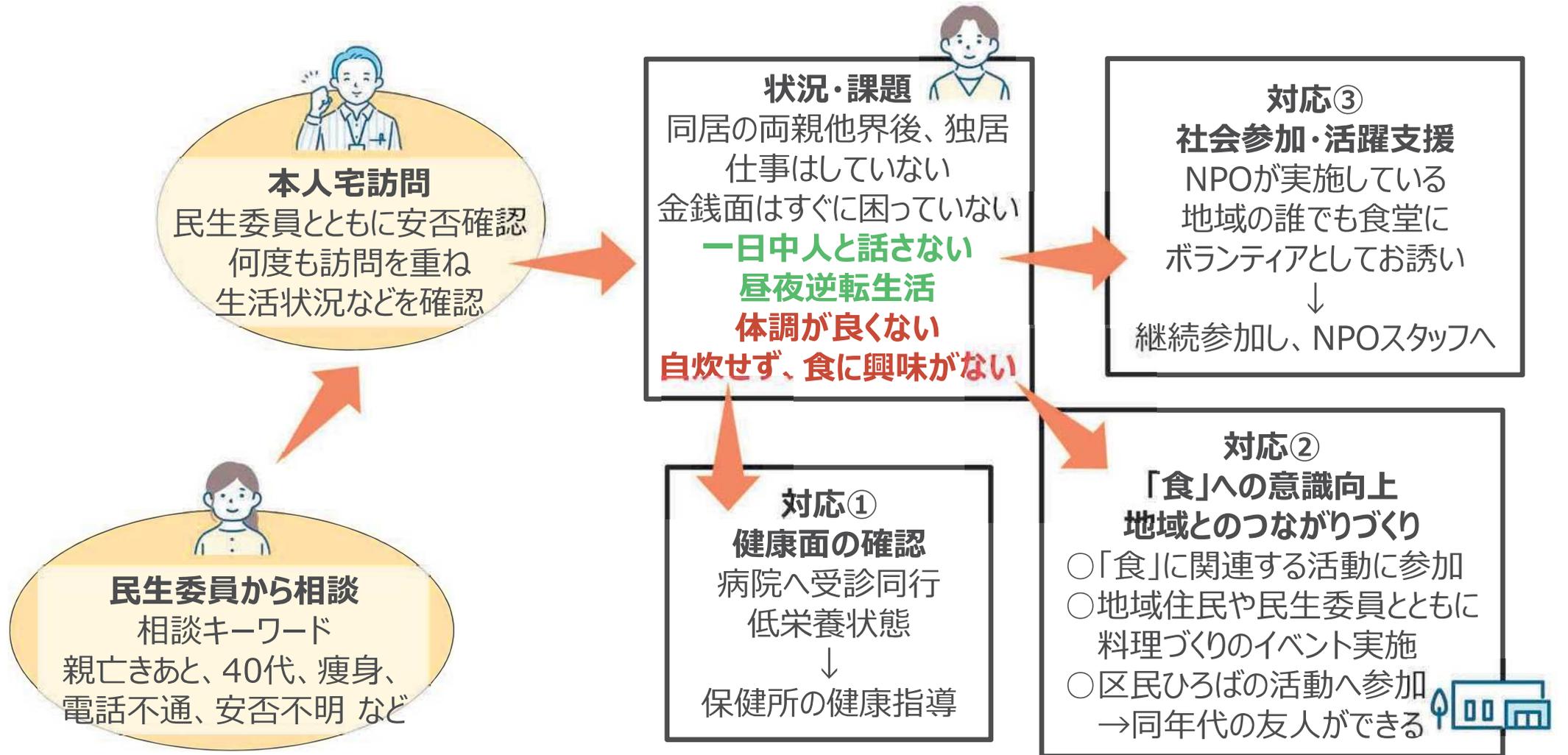
相談・支援内容	キーワード
50代男性の生活支援について	50代、アルコール、通院同行、居場所
電球交換について	高齢者、電球交換、ボランティア
精神状態に波のある高齢者への支援	高齢者、認知症
相談先を調べるのが難しい高齢者への支援	高齢者、独居
生活費相談	生活相談、生活保護、金銭管理、コミュニケーション
外国人住民の物件さがし	区民ひろば、外国人、相談会、不動産
障害手帳を持つ単身世帯との長期的な関係継続	精神障がい、相談できる関係づくり
高齢の母と障害のある引きこもり男性への支援	8050、年金受給、精神障がい、アルコール
精神疾患を抱えた本人への生活の支援	統合失調症、生活保護
本国から呼び寄せた子どもの支援	外国籍世帯、越境入学、日本語教室
孤食の高齢者の居場所づくり	独居、孤食、居場所
就労しているものの食料支援が必要なひとり親家庭への支援	ひとり親家庭、食料支援
一時退院で車いすを必要とする男児への支援	小児がん、一時退院、車いすの貸し出し
癌を宣告された知人への支援	集合住宅、独居、がん、自主グループ
緊急時通報についてのサービス	高齢者、独居、緊急時サービス

## < C S Wによる支援の特徴 >

C S Wに寄せられる相談には、ちょっとした困りごとですぐに解決するケースもあれば、適切な解決方法がないケース（いわゆる『制度の狭間』）や、対象者のもつ困りごとや環境が複雑に絡み合っているケース、長期のひきこもり生活を送っているケースなどがある。これらのケースは、すぐに課題解決に至らず、数か月～数年に渡って支援（関わり）を継続すること、また、課題が再燃したり、新たな課題が発生することもある。

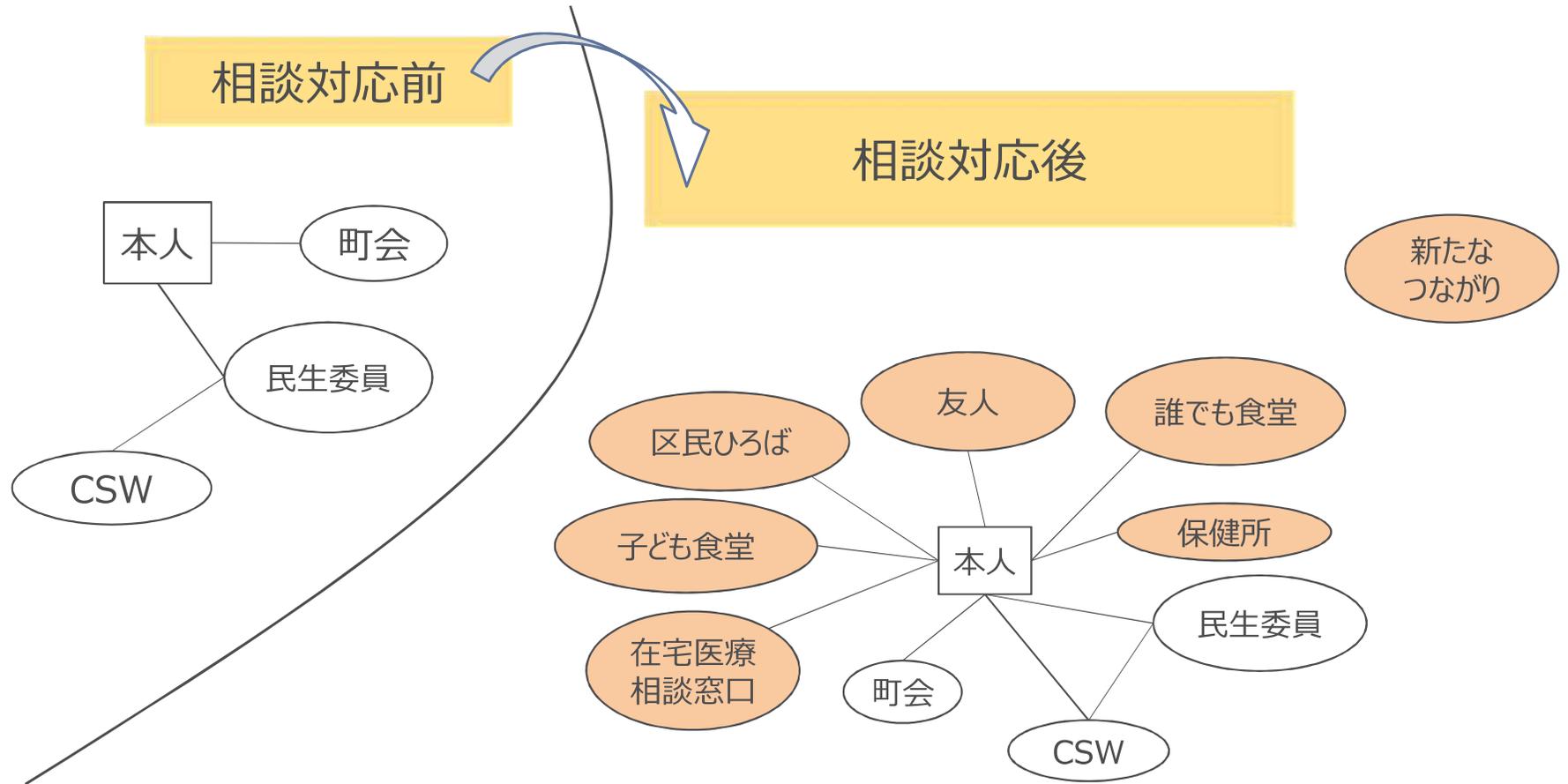
そのため、C S Wは課題解決を目指す支援のみではなく、**伴走支援（つながり続けることを目指すアプローチ）**を合わせて行っている。

# 事例① 親亡きあと、ひきこもり状態になっていた方への支援



※いくつかの事例をもとに構成しています

## 対象者の地域におけるつながりの変化

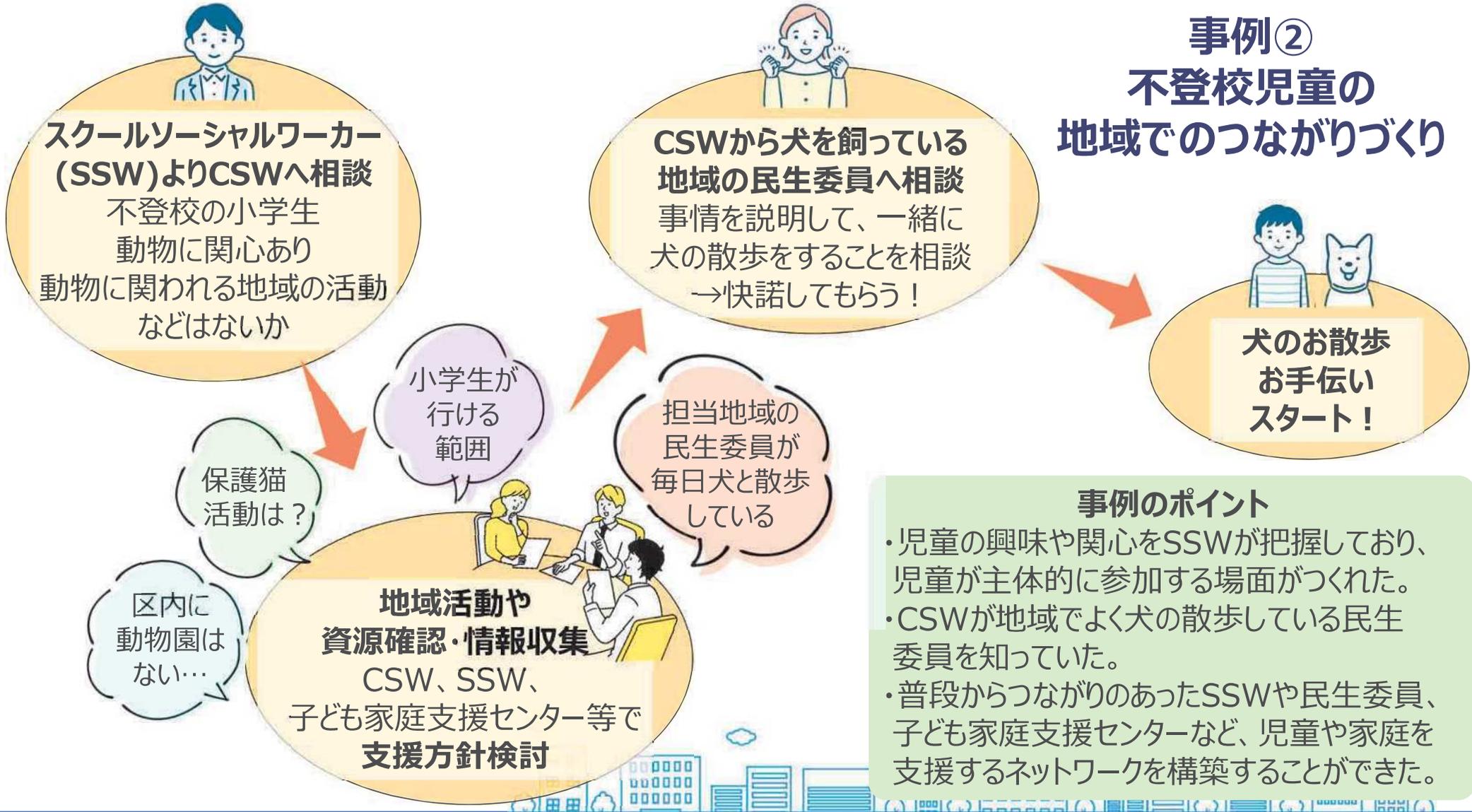


※図が見つらくなるため線は引いていませんが、CSWは記載されている全ての機関とつながりがあります。

※いくつかの事例をもとに構成しています

## 事例②

# 不登校児童の 地域でのつながりづくり



※いくつかの事例をもとに構成しています

# としまる (TOSHIMA Multicultural Support)

## 外国人への包括支援事業



- ◆ コロナ禍をきっかけに、困窮する外国人家庭への支援の機運が高まる。
- ◆ コロナ禍以前よりつながりのあった公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、弁護士法人東京パブリック法律事務所、豊島区民社協などで、支援方策や事業スキームなどについて協議。シャンティ国際ボランティア会を主管団体として、「休眠預金等活用事業※」へ応募。
- ◆ 採択ののち、2021年5月より事業開始。
- ◆ 社協内では、主にCSW、共生社会課長が担当。

※ 休眠預金等活用事業…2019年に始まった10年以上取引のない預金（休眠預金）等を社会課題の解決・民間公益活動の促進のために活用する制度



## 事例③ 地域で孤立する外国籍世帯

### <相談のきっかけ>

コロナ禍により生活に困窮する外国人世帯向けに実施した、多機関協働による「としまるフードパントリー」に来所。

### <当初の相談内容>

介護保険料の督促状が届いているが、生活に困窮しており支払いが難しい。

→ミャンマー人5人家族。在留資格は長女が永住だがそれ以外は特定活動で28時間/週しか就労できない。それぞれ疾病もあり、通院などはできているようだが、利用しているサービスなどはなく、支援が必要であると思われる。CSWが自宅を訪問することに。

### <世帯の状況>

それぞれ約20年ほど日本在住、現在は5人で生活。長女以外の在留資格は特定活動。

A：長女(60代後半) 就労中、心臓病、在留資格／永住

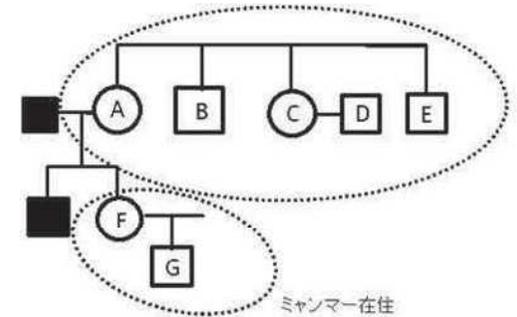
B：長男(60代後半) 脳血管疾患後遺症により左半身と発語に軽度の障がいあり

C：次女(60代前半) 喘息や足が悪く仕事できない

D：次女の夫(60代前半) 就労しているが就労制限あり

E：次男(50代後半) 心臓病により就労困難

(その他の親族) ミャンマーに長女の子(40代)と孫(10代)。クーデターにより呼び寄せたい。→現在は日本に滞在



## <把握したニーズ・希望（一部）>

- ・世帯の中で働ける人が少ないため、収入が少ない。D（次女の夫）を就労制限のない在留資格に切り替えたい。
- ・B（長男）の発語等に障がいがあるが、リハビリなどをしていない。Bは、一家を支えているA（長女）への負い目もあり、働きたいと思っている。
- ・一日中家にいることが多く、家族以外とコミュニケーションをとることが少ない。
- ・ミャンマーから来日したF（娘）とG（孫）の在留資格を切り替えたい。
- ・Gは日本語が分からず、1日中Youtubeなどを見て過ごしている。

## <CSWの対応>

- ・Bについて、地域包括支援センターなどのフォーマルサービスへのつなぎ  
→リハビリ、つながりづくり
- ・「ぷらっと」への参加  
→外出機会の創出、つながりづくり、課題共有
- ・「“出前型”多文化共生交流会」の企画・実施  
→活躍支援、地域づくり

## “出前型”多文化共生交流会



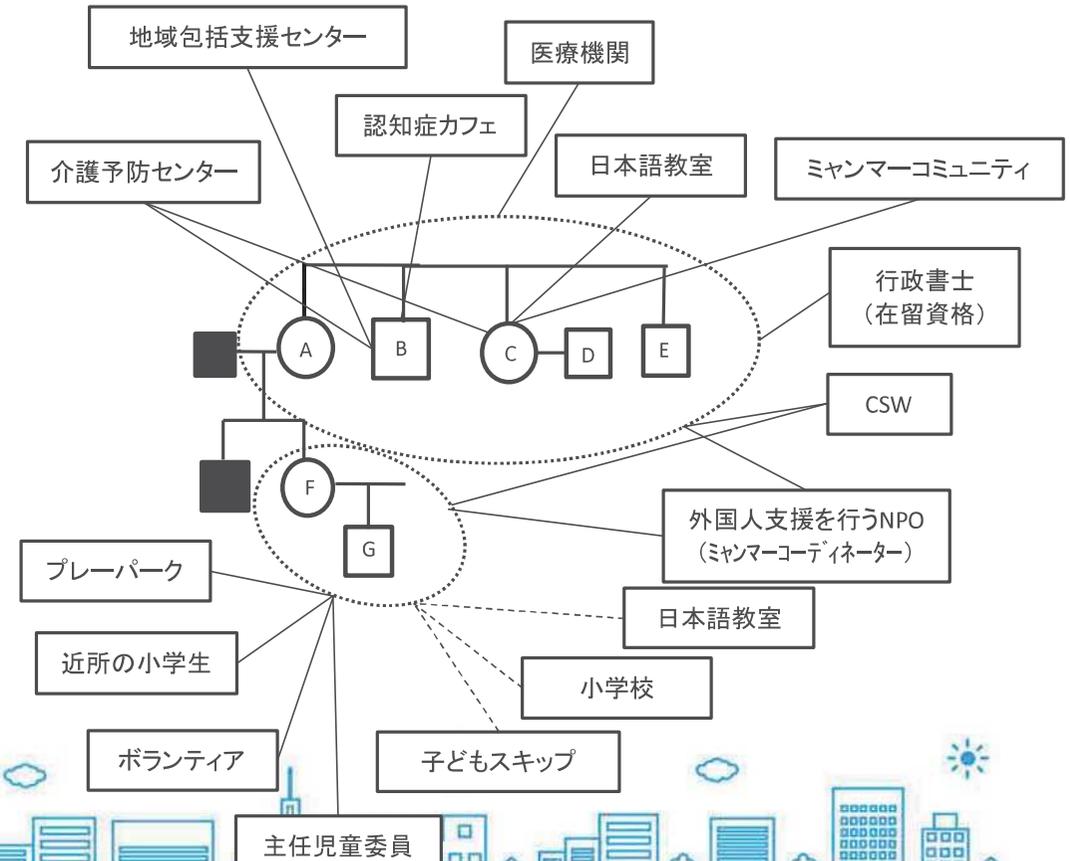
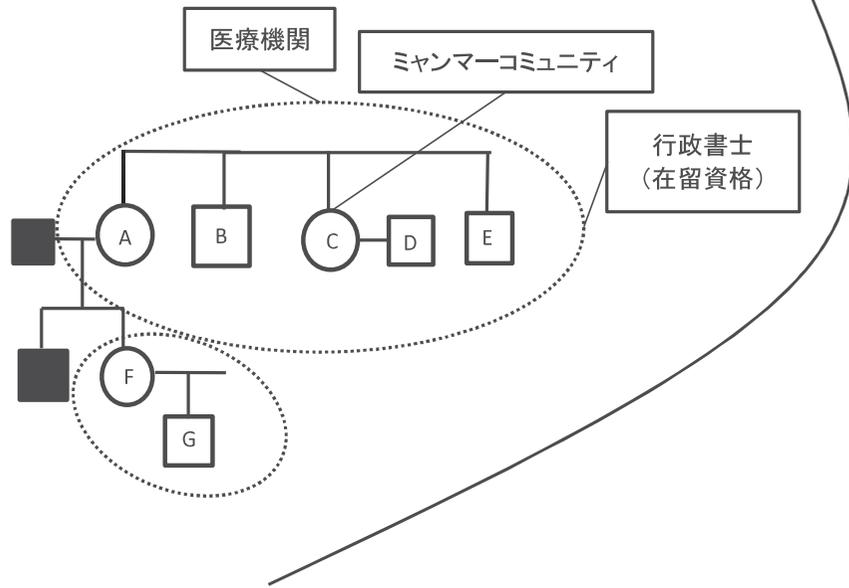
ミャンマーのお祭りや  
国の花などを写真で紹介。  
ミャンマーの日焼け止めを  
塗ってみる体験も。



# ソーシャルサポートネットワークの変化

相談対応前

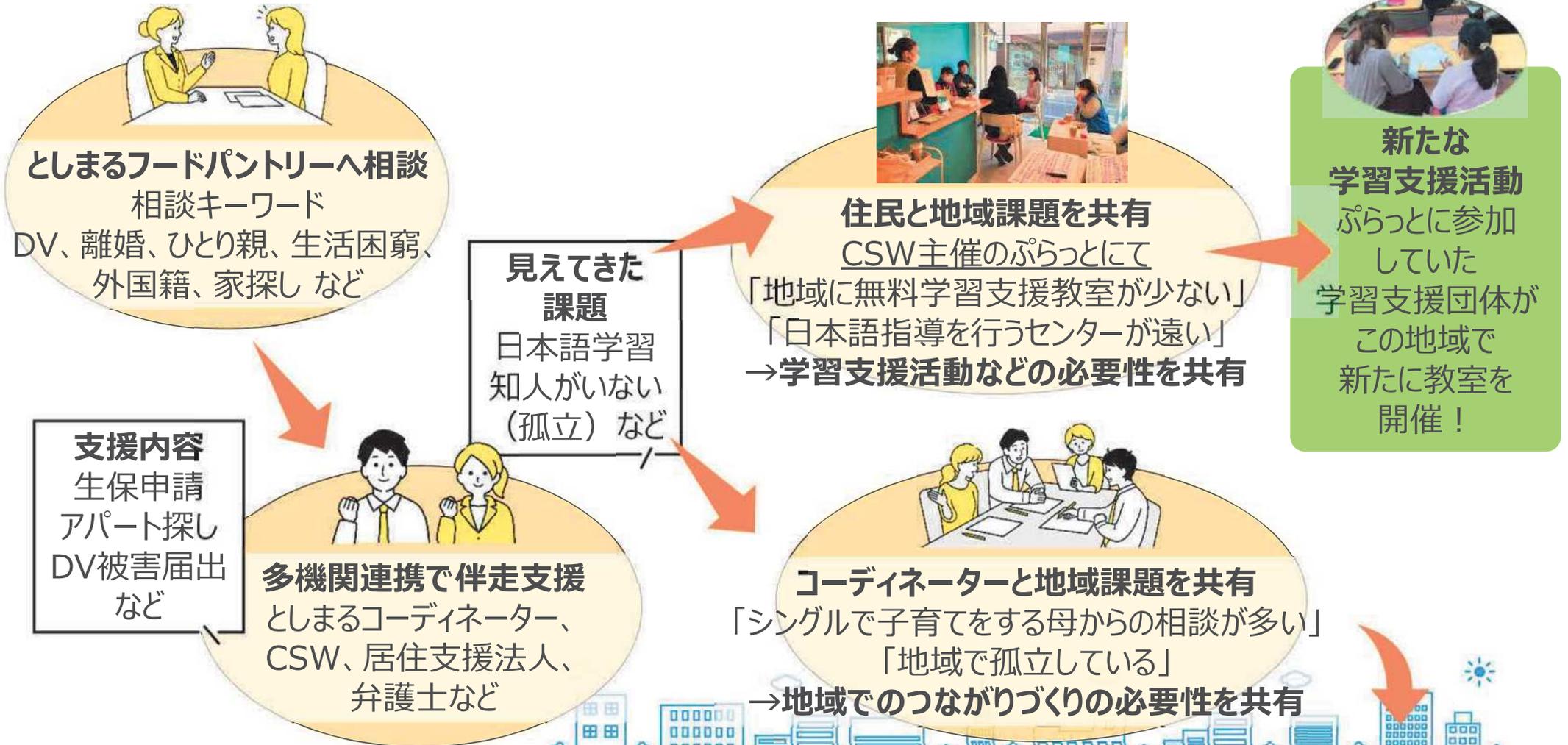
相談対応後



## <CSWによる関わりのポイント>

- ・多機関協働やアウトリーチによる課題把握
- ・世帯員それぞれの状況把握と整理
- ・日々の活動における地域アセスメントとネットワーク形成
- ・対象者のストレンクスを活かした活躍支援
- ・地域住民が出会い、つながり、課題を共有し、主体的に関わる場やきっかけづくり

## 事例④ としまるサロン～活動から見えてきた課題から～





**としまるサロン**  
 母親同士のつながりづくりを  
 目的に開催！

外国ルーツのひとり親の皆さまへ  
 To single parents with foreign roots

**としまるサロン**  
 TOSHIMARU SALON

2024. 3.16 (土/Sat) 14:00 ~ 16:00

どこ？ 区民ひろば富士見台  
 Place Kumin-Hiroba Fujimidai  
（豊島区 南長崎）6-1 Toshima-ku Minaminagasaki 1-6-1

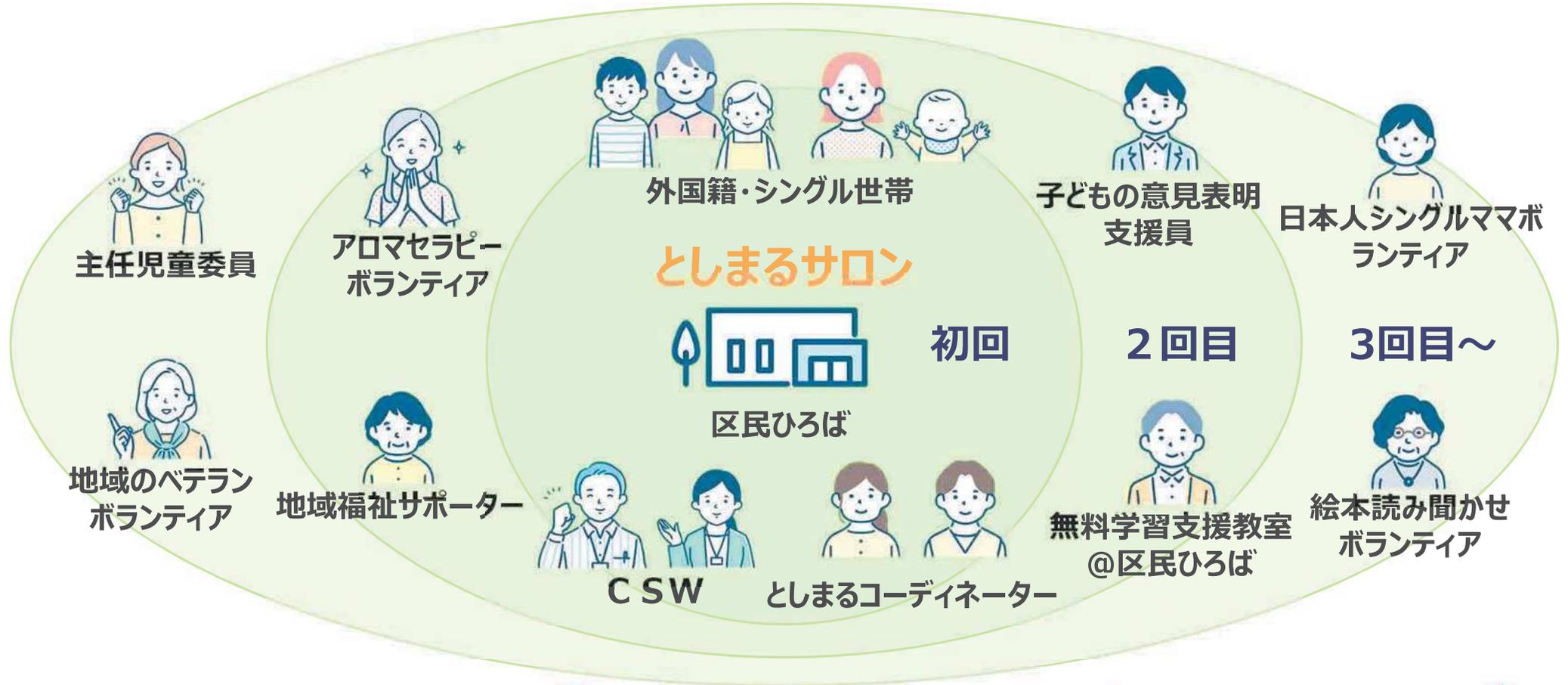
なにをする？  
 みんなでおはなしできます  
 You can all talk together.  
 書類の書き方など、教えます。  
 We will teach you how to fill out the forms.  
 子どもと一緒に来ることができます。  
 Children are welcome to come along.

連絡先 Contact Us  
 050-3152-1991 (フリーダイヤル) 050-3152-1992 (携帯電話)  
 050-3152-1233 (FAX) 050-3152-1990 (1134.ご)

公益社団法人シャントー国際ボランティア会 Shanti Volunteer Association



# としまるサロンでつながる 地域の新たな支えあいの輪



地域支援  
R6実績

- 町会・自治会、民生児童委員協議会（サロン、班活動）、ボランティアグループ、NPO、企業など、地域で活動する団体等とのやり取りの件数。
- 内容は、活動の立ち上げ、活動上の相談（人、場所、資金など）、活動の周知、企業による地域貢献活動に関することなど。

298

団体

やりとりがあった団体数

2,890

件

対応件数（延べ）



## 結のカフェおりがみ ～地域の居場所が立ち上がるまで～

CSWは地域のサロンの立ち上げや運営支援を行っています。その一つの「結のカフェおりがみ」は、2022年から始まった地域の居場所です。主催者には、自身の経験から「精神障がいを抱えながら働く方が集い、お互いをサポートし合える場を作りたい」という思いがありました。その思いを受け取ったCSWは、実現に向けて地区内の地域活動支援センターやレンタルスペース等に相談をしていきました。主催者の思いに賛同した一つの地域活動支援センターと、主催者、CSWの三者で打ち合わせを重ね、2022年11月にプレイベントを実施することができました。活動名の「おりがみ」は主催者の特技でもあり、「来店した方やスタッフ同士、地域全体に日本伝統の折り紙のような優しさと温かさを届けたい」という思いから決定されました。

現在も月一回程度の活動として継続中で、障がいを抱えた方に限らず誰でも来店できるカジュアルな地域の居場所となっています。

- ②地域支援（活動の立ち上げ・運営支援）
- ④地域のネットワークづくり（人と人、人と地域、団体同士をつなぐ）
- ⑤住民の福祉意識醸成（福祉教育、地域課題発信・共有）



# 結のカフェおりがみ～CSWの動き・働きかけ～

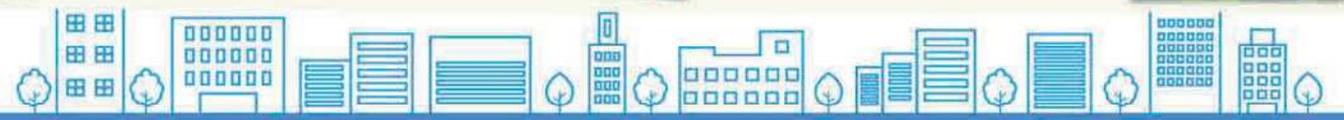
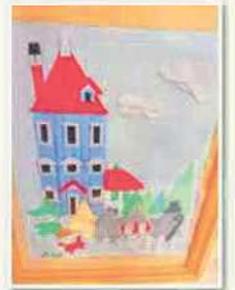
これまでの  
歩み

- [打ち合わせで話し合ったこと]
- ・カフェの名前(活動名)
  - ・開催日時、開催頻度
  - ・参加対象
  - ・問い合わせや申し込みの連絡先
  - ・広報(チラシ等)
  - ・運営に関わる資金について

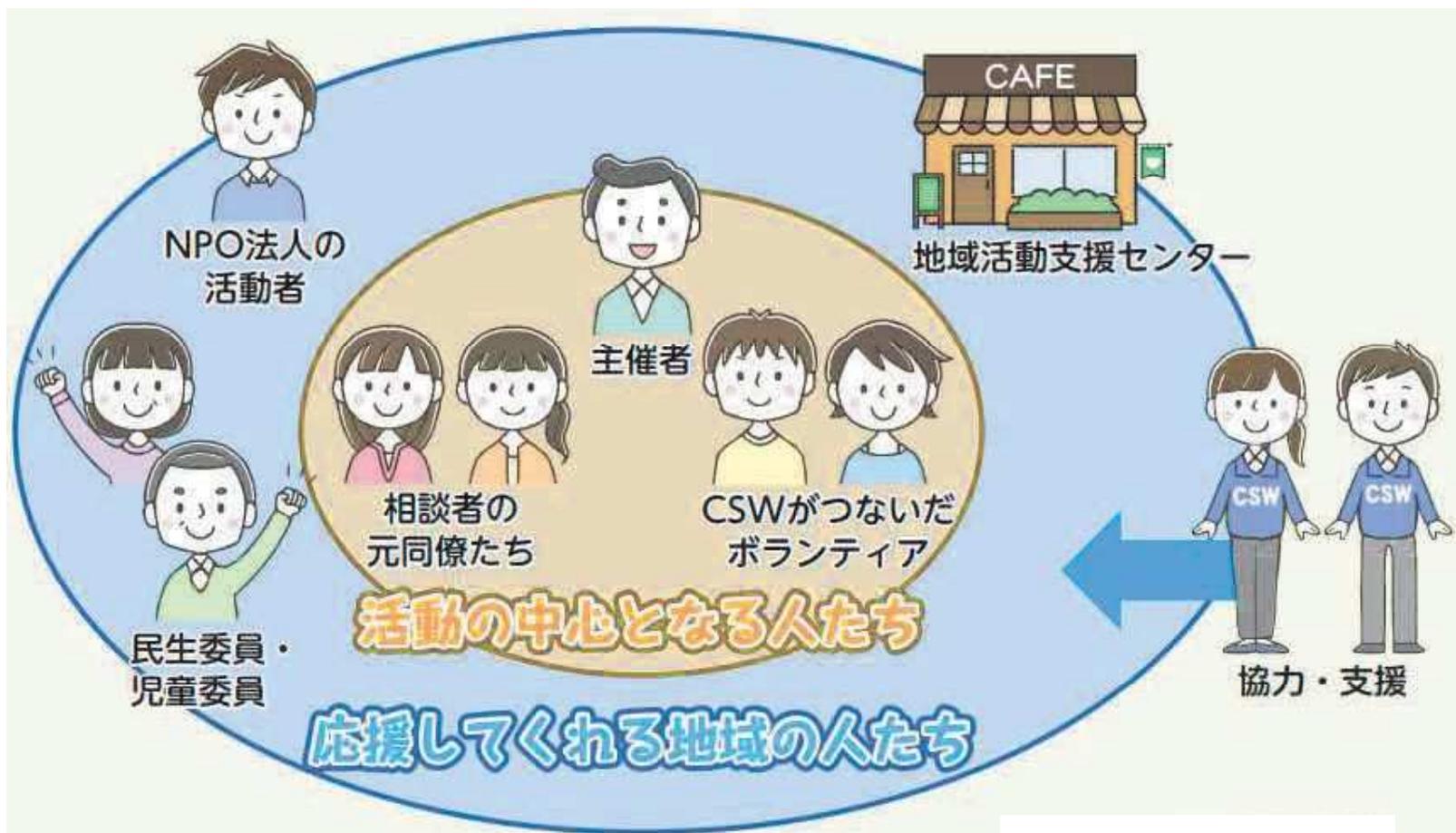
シンボルマークも決定!



・民生委員へ相談者の想いを共有しながら、活動について周知。お客さんとして来店してもらうことになりました。  
 ・若者支援を行っているNPO法人スタッフとぶらっとで顔つなぎ。NPO法人の経験から公式LINEの開設方法を教えてもらうことになりました。



## 結のカフェおりがみを通じて生まれた新しいつながりの輪



# ぷらっと（地域のプラットフォーム）の展開

## 「ぷらっと」とは・・・

地域のさまざまな人が出会い、学び合う場です。さまざまな人がそれぞれの場所から駅のプラットフォームに集まって、一緒に電車に乗っていくように、ぷらっとに集まり、出会い、つながることができる場です。

令和4年度より、各圏域にて隔月1回ペースでの実施を目標に実施しています。



- ②地域支援（活動の立ち上げ・運営支援）
- ③地域の実態把握（人、活動、施設など、地域を知る）
- ④地域のネットワークづくり（人と人、人と地域、団体同士をつなぐ）
- ⑤住民の福祉意識醸成（福祉教育、地域課題発信・共有）



ぷらっと  
事例

## 区民ひろば池袋で開催したぷらっとにて…

池袋エリアの外国人比率は24% 区内でも最も高い  
でも、外国人と地域とつながりは希薄…

ひろばを知らない人も多い

ひろばにつながるためのきっかけづくりができないか？

ぷらっと  
参加メンバー  
中心に企画

親子で参加できるイベント

日本の冬や世界の冬を知る

→こたつ、みかん、正月遊び

ぷらっと  
事例



いろいろな国の冬を楽しもう！